

基本設計図修正の経緯

H29.1.20

■設計業者プロポーザルの主なポイント（10月）

（外観等）

- ・弓ヶ浜をイメージし、曲線を基調とした正面入口（東側）
- ・建物の南北を通り抜ける通路
- ・木材を使用し、5メートル突き出たガラス張りの庇

（構造、設備）

- ・免震構造
- ・可動席を床下収納し、エントランスとホールの一体利用
- ・太陽光、雨水利用

⇒設計業者から示された3案（図書交流機能1F、2F、1・2F）について、
検討委員会、ワークショップ、関係団体等に意見を聞く。

別紙



■図面の修正依頼（12月27日）

検討委員会、ワークショップ、関係団体、議会等からの要望も踏まえ、図書交流機能は1Fに配置することとし、

- ①維持管理費のかからないシンプルな箱型の図面 → 市から追加要望（新規）
- ②設計業者提案の曲線を生かした外観の修正図面の2案を依頼し、比較検討することとした。



■修正図面説明（1月10日）→ 庁内検討委メンバー説明を受ける。

設計業者からは、

- ①市からの追加要望・・・（A-1案）
- ②業者提案の修正・・・（A-2案）のほか
- ③図書交流機能を1・2Fに配置した設計業者追加図面・・・（C案）



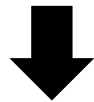
⇒庁内検討委で協議

【裏面に続く】

■図面の修正依頼（1月12日）

市民説明会へ向けて

- ①市民要望を反映していないC案は対象外とする。
- ②プロポーザル審査会でデザイン性の評価が高かった弓ヶ浜をイメージする曲線を生かした外観とするが、実用性を考慮し、北側の執務室、会議室部分は直線とする。
- ③市民要望に一番沿った配置図（A－1案）を基本に、設計業者提案の（A－2案）の外観とする。
- ④ホール部分の可動席は、床下収納は採用せず、多目的利用のスペースは600㎡程度を確保する。
- ⑤冷暖房効率を考慮し、吹き抜け部分は可能な限り小さくする。



■今回の基本設計（案）…別紙A3図面

■外観等

外観の全面ガラスや庇部分などについては、引き続き、財政面も含め協議・検討する。

■今後の予定

1／27 第2回ワークショップ

2／10 第2回検討委員会（1回目は12／23）

※今回の修正図面について、関係団体への説明、パブコメも行う予定